

# 日本 RNA 学会会報

No.7 (2002 年 10 月)

## 目 次

日本RNA学会 第1期第2期合同役員会議事録 .....	1
日本RNA学会 第4回総会報告 .....	2
2001年度会計収支決算報告書 .....	3
2002年度収支予算 .....	4
国際会議「RNA研究のフロンティア」の 準備状況について .....	5
日本RNA学会年会事務局業務について .....	6
編集幹事より .....	8

日 本 R N A 学 会

(THE RNA SOCIETY OF JAPAN)

## ◆日本RNA学会 第1期第2期合同役員会議事録

日時： 平成14年7月16日（火） 12時30分から13時30分

場所： つくば国際会議場 会議室301号室

出席者

第2期評議員： 井上 丹\*、内海利男（第1期会計）、太田成男\*、坂本 博\*、  
塩見春彦、志村令郎\*（会長）、多比良和誠（集会幹事）、谷 時雄\*（集会幹事）、  
中村義一\*、武藤 あきら\*（\*1期から継続）

第2期幹事： 井上邦夫（庶務）、松藤千弥（編集）

第1期役員： 饗場弘二（編集幹事）、渡辺公綱（評議員）

1. 志村会長が挨拶を行った。
2. 井上庶務幹事より、正会員、賛助会員の現況が報告された。また、総会で予定している報告事項が説明された。
3. 内海第1期会計幹事（第2期評議員）より、平成13年度の会計収支決算報告が行われた。すでに会計監査により適正な予算執行と認められたことが確認され、収支決算報告を承認した。続いて、内海評議員（河合第2期会計幹事の代理）より、平成14年度の会計収支予算案が提出され、これを承認した。
5. 第4回年会長の多比良評議員より年会準備が順調に進んでいることが報告された。
6. 第4回総会の議長・副議長として饗場弘二氏、渡辺嘉典氏を推薦することとなった。また、総会成立には正会員の半数にあたる199名以上の出席（委任状を含む）が必要なことが確認された。
7. 第5回年会は熊本開催の予定であったが、2003年11月に京都で国際会議形式で開催することとなった。また、第6回年会は、熊本で開催する予定である。

(庶務幹事・井上邦夫)

## ◆日本RNA学会 第4回総会報告

日時：平成14年7月17日（水）16時30分から17時15分

場所：つくば国際会議場 大ホール

1. 志村会長が開会挨拶を行った。
2. 総会議長に饗場弘二氏、副議長に渡辺嘉典氏を選出した。
3. 饗場議長より、正会員の過半数（63通の委任状を含む）が総会に参加しており、総会が成立していることが報告された。
4. 井上庶務幹事より以下の報告が行われた。
  - ・平成14年7月現在、正会員が397名（一般会員242名、学生会員155名）、賛助会員が10社である。
  - ・第2期評議員選挙の結果、および、第2期役員が報告された（第6号会報に掲載）。
5. 内海第1期会計幹事（第2期評議員）より、平成13年度会計収支決算書が提出・説明され、異議なく承認された。
6. 河合第2期会計幹事より、平成14年度収支予算案が提案・説明され、異議なく承認された。
7. 多比良第4回年会長の挨拶があり、多数の参加・発表者を得て年会在順調に運営されている旨の説明があった。
8. 谷評議員・集会幹事より、第5回年会について、当初計画していた熊本開催を変更し、11月に京都で国際会議形式にて開催する旨の提案があり、異議なく承認された。また、大野睦人氏、井上丹評議員ら、京阪神地区の会員が中心となって準備を進める予定であることが説明された。
9. 饗場議長により閉会挨拶があり、総会が終了した。

（庶務幹事・井上邦夫）

## ◆2001 年度会計収支決算報告書

2001 年度（2001 年 4 月 1 日～2002 年 3 月 31 日）の学会会計収支決算は以下のよう  
になりましたのでご報告いたします。

（2001 年度会計幹事 内海利男）

### 収入の部

科目	予算額	決算額	備考	
学会費	943,000	1,252,750	一般会員会費	960,000
賛助会費	783,000	720,000	学生会員会費	194,000
預金利子	220	308	海外会員会費	9,750
収入小計	1,726,220	1,973,058	入会金	89,000
前年繰越金	1,250,856	1,250,856		
合計	2,977,076	3,223,914		

### 支出の部

科目	予算額	決算額	備考
事業費	750,000	638,295	
年報発行	150,000	145,096	No. 4, No. 5
年会補助金	400,000	409,199	
ホームページ関連費	200,000	84,000	
評議員費	309,000	156,660	
旅費・会議費	299,000	125,895	(財) 日本学会事務センター 選挙関係費用
その他	10,000	30,765	
業務委託費	473,000	502,797	
一般事務費	330,000	222,742	
印刷費	80,000	15,546	印刷・コピー代等 会報・請求書・委任状発送費 会員情報 FD 作成 払込み手数料・会費保管料
通信費	140,000	161,836	
庶務事務費	100,000	25,200	
雑費	10,000	20,160	
予備費	100,000	0	
支出小計	1,962,000	1,520,494	
次年度繰越金	1,015,076	1,703,420	
合計	2,977,076	3,223,914	

### 2001 年度会計監査報告

平成 13 年度収支計算書について関係書類とともにその内容を慎重に監査した結果、  
正当であることを認めます。

日本RNA学会会計監査委員

水本清久 印

西川一八 印

## ◆2002 年度収支予算

(2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日)

### 収入の部

科目	2001 年度予算額	2002 年度予算案	備考
学会費	943,000	1,184,000	一般会員会費 927,000 円 (5,000 円×206 名×0.9)
賛助会費	783,000	648,000	学生会員会費 257,400 円
預金利子	220	200	(2,000 円×143 名×0.9)
収入小計	1,726,220	1,832,200	
前年繰越金	1,250,856	1,703,420	賛助会員会費
合計	2,977,076	3,535,620	

### 支出の部

科目	2001 年度予算額	2002 年度予算案	備考
事業費	750,000	950,000	
年報発行	150,000	150,000	年 2 回 (No. 6, No. 7)
年会補助金	400,000	700,000	
ホームページ関連費	200,000	100,000	
その他	0	0	
評議員費	309,000	160,000	
旅費・会議費	299,000	150,000	
その他	10,000	10,000	
業務委託費	473,000	536,000	(財) 日本学会事務センター
一般事務費	330,000	280,000	
印刷費	80,000	40,000	印刷・コピー代等
通信費	140,000	180,000	会報・請求書発送費等
庶務事務費	100,000	30,000	
雑費	10,000	30,000	
予備費	100,000	100,000	
支出小計	1,962,000	2,026,000	
次年度繰越金	1,015,076	1,509,620	
合計	2,977,076	3,535,620	

(2002 年度会計幹事 河合剛太)

## ◆国際会議「RNA研究のフロンティア」の準備状況について

平成15年11月24日～27日、京都国際会館において、第5回日本RNA学会年会と合併した形で、国際会議「RNA研究のフロンティア」を開催いたします。現在想定している規模は、外国人研究者30人、日本人研究者300人です。国際会議準備委員会を発足させ、関西地区の、井上丹・坂本博・井上邦夫・大野睦人らが中心になって準備を行う計画です。

(大野睦人)

## 寄稿：日本RNA学会年会事務局業務について

東 牧 子

RNAミーティングの事務局業務を始めて3年目になります。電子メールのみによる参加登録および発表申込み受付という方法も参加者の皆さんに定着し、また、事務局側の会議開催準備のノウハウもスタイルが出来上がってきたように思います。

以前は参加希望者から送られる電子メールが文字化けで読めなかったり、添付ファイルの要旨原稿がウィンドウズとマッキントッシュとの互換性やソフトのバージョンの違いが原因でうまく開けなかったりといったトラブルもあり、“従来の郵送による受付方法の方が良かったのでは？”と思ったこともありましたが、PCの進歩と皆様のご助言のお蔭で、年々この種のトラブルは少なくなり、参加登録業務も効率よく進められるようになりました。

しかし、あえて難点を申し上げるとすれば、要旨作成のための見本をホームページ上でダウンロードできるように設定し、書式や余白など細かく指定をしても、規定に忠実な原稿は全体の5割以下というのが現状です。送られてくる原稿を一つ一つ上下左右のマージン、フォント、サイズ等をチェックして修正するのは大変な作業です。年会準備の仕事で一番時間と体力と根気を要するのは、要旨集を印刷に出すまでのこういった作業一連です。

事務局側の課題もあります。現在は大学や研究機関の研究室単位でホームページを開設しておられるので、年会公式ホームページも世話人の先生の研究室ホームページから簡単に開設することができます。しかし、大学は割合頻繁にサーバーがダウンするため、その度にアクセスできないと言う苦情が寄せられました。

発表申込件数は年々増加しています。投稿時期に関していえば、毎年変わらず申込数の8割が締切日当日に集中しています。最初の頃は、締切日が近づいても一向に伸びない発表件数に随分心配しましたが、この傾向がわかってからは、逆にそれを前提とした準備の段取りを組んでいます。

発表方法の課題としては、今や主流となった液晶プロジェクターによる口頭発表があげられます。液晶プロジェクターを用いた発表件数は、昨年度は全体の2割～3割程度でしたが、今年度は実に8割にまで及びました。“液晶対策”は事務局でも随分頭を悩まされました。当初は発表者の負担を少なくするために、原稿をCDに焼きつけて持参してもらうことも検討しましたが、結局、自身のコンピューターを持ち込んで頂くように依頼し、学会当日のスタッフの人員配置も液晶担当にかなり重点をおきました。開催会場のハード設備の環境にもよりますが、できるだけ発表者に負担がなく、また、コンピューターが発表中にフリーズしてしまうといった不測の事態を最小限にすることが、今後も引き続き検討課題であると思います。

日本RNA学会への新規入会及び年会費納入については、昨年から学会期間中に年会費受付のデスクを設けて、会費未納の方や新規入会の方の処理を行っています。割合に集金率が高く、また会員の皆さんにも好評(?)なので、この制度は恐らく次年度以降も継続されるでしょう。もし年会時に未納金がある方は是非ご利用下さい。RNAミーティングの発表者は原則的に日本RNA学会会員であることが条件であるため、毎年発表を機会に新規入会を希望する方が結構おられます。ミーティング事務局が窓口となりスムーズに入会手続きができるようになればさらによいのではないのでしょうか。

1年目にはほんの数人の先生方のお顔を存じ上げる程度でしたが、RNAミーティングの回を重ねるごとに、少しずつお顔とお名前が一致する方が増えてきて、皆様と毎年ミーティングでお目にかかれることが楽しみになりました。また、第2回の中村研究室、第3回の坂本研究室、そして今年度の多比良研究室と沢山の方々と一緒に楽しく仕事をさせて頂く機会に恵まれることも、この仕事をしていて最も嬉しいことの一つです。

今年は特定領域研究の国際シンポジウムに引き続いての開催ということもあり、予想以上に事前の準備が大変でしたが、何とか無事に会議開催まで持っていくことができましたのも、多くの方からのあたたかい励ましがあつたからこそとこの場をお借りして心より御礼申し上げます。



#### ◆編集幹事より

日本RNA学会会報第7号をお届けします。例年秋の号には総会・役員会議の報告と会計記事が載りますが、今回は3年間本学会年会の事務を担当された東牧子さんから事務局業務についてご寄稿いただきました。将来発表申込をされる方々には是非読んでいただきたいと思います。また、今後の年会運営だけでなく、本会のメンバーが関係する様々なミーティングをよりよくするためにも大変貴重な経験談になっています。会報では、この記事へのリ spons を始め、学会への提言をお待ちしています。ミーティングなどの案内の掲載も募集していますのでご活用ください。

(松藤千弥)

**日本RNA学会 会報**

**第7号 (2002年10月)**

発行・製作：日本RNA学会 編集幹事

連絡先：東京慈恵会医科大学

生化学講座第2 松藤 千弥

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

電話：03-3433-1111 内線2276

FAX：03-3436-3897

E-mail：senya@jikei.ac.jp